

2011年
1月号

Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.47)



Mini-WANとは

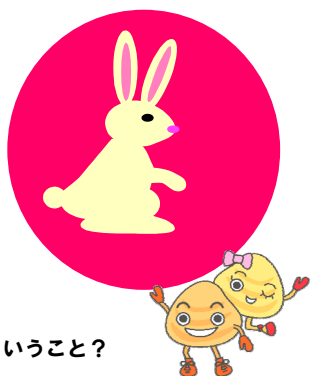
港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

★CONTENTS★

■巻頭コラム

■最近のトピックス

- 安全大会を開催しました
- 第1回「重点港湾衣浦港」の将来像を考える会が開催されました
- 第6回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催
- 国際自動車コンプレックス総会が開かれました
- なるほど三河港
- 祝 三河港上海航路新設！でも、航路が開設されるってどういうこと？
- 気ままに三河湾釣り紀行(碧南釣り公園編)



★巻頭コラム★

三河港湾事務所長 平井 洋次

新年あけましておめでとうございます。本年も当事務所職員一同よろしくおねがいします。そして、久々のコラムです。今年も、この記事を書いている時点で、もう半月以上が経っており、本当に時が経つのは早いものです。

昨年は「虎穴に入らずんば、虎児を得ず」という感じでしょうかと書きました。それにもかかわらず、日々の業務でもっとも大事な現場（工事の現場だけでなく、日々の地域の皆様方とのつながり等も）を疎かにしていなかったか？と思うことがありました。やはり現場に行って、見て、感じる事が一番大事ですので、初心に帰って今年一年取り組んでいきたいと思います。

また、昨年は、三河港、衣浦港ともに新規の直轄港湾整備事業の対象となる港湾に位置づけられました。両港ともに、地域の産業や経済を支える国際・国内海上輸送網の拠点であり、そこに立脚して、国際競争力の強化の早期実現を図るためにも、国として、当事務所として引き続き様々な課題に取り組んでまいります。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局 三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ノ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

三河港湾事務所ホームページはこちら <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

☆最近のトピックス☆



○安全大会を開催しました

平成22年12月15日及び17日、衣浦港事務所（15日実施）及び三河港湾事務所（17日実施）において安全大会を開催しました。安全大会とは安全に対する意識の高揚と安全活動の定着を目指し実施するものです。

本大会は当事務所発注の工事及び業務の受注者及びその下請業者が参加し、衣浦港事務所においては当局職員及び半田労働基準監督署、衣浦港海上保安署から、三河港湾事務所においては当局職員及び三河海上保安署から講師を招き安全講話を行いました。

安全講話では、「建設工事は産業及び一般生活の基盤を造る重要な仕事で、『安全第一』を念頭に作業を進めていただいていると思います。建設工事の安全確保については、作業者の意見交換、問題点の明確化、自主点検の徹底など積極的に取り組む必要があること。また、平成22年度は港湾空港工事関係において多くの死亡事故が発生しました。これらの事故は、全く偶然によるものでなく、その背景には必ず作業方法や、人の行動が原因になる場合がほとんどであり、安全に対する意識を一層高め、建設現場の違いをよく理解し、定着させて頂ければと思います。」とお話をいただきました。

参加者からは現場で実施している安全対策等を報告していただき、無事故無災害に対する意識をより一層高め安全大会を終えました。



安全大会の実施状況

○第1回「重点港湾衣浦港」の将来像を考える会が開催されました

平成23年1月13日、第1回「重点港湾衣浦港」の将来像を考える会（事務局：愛知県衣浦港務所）が衣浦港湾会館で開催されました。

この勉強会は衣浦港に関係する地元自治体、商工会議所により構成され、背後圏の産業を担う衣浦港の最も望まれる将来像、整備の方向性を検討するために実施するものです。

三河港湾事務所はアドバイザーという形で参加し、今年度選定された重点港湾について解説させていただきました。

今回は初回ということで、衣浦港の現状と課題、各市町の総合計画における港湾への要請について説明がありました。

衣浦港の現状と課題を整理した中で、衣浦港の港湾施設の老朽化、臨海部の交通渋滞について関心が高かったようです。

勉強会は全部で5回開催される予定です。



勉強会の様子

○第6回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催



部会の様子(蒲郡商工会議所会館)

平成23年1月17日、第6回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会(事務局:三河港湾事務所)を開催しました。三河湾部会においては、伊勢湾再生海域推進プログラム(平成20年3月)に位置づけられた「多様な生物がいきづくうみの保全」に向け、三河湾において大きな懸念材料である「貧酸素水塊」の抑制に効果が期待できる方策等について検討を進めるものです。

部長である中田教授(東海大学海洋学部)の議事進行のもと、2つの議案、

①これまでの三河湾部会における議論のまとめ「三河湾貧酸素水塊発生抑制に向けて(仮称)」及び②干潟・浅場造成の必要性等をPRするための広報資料に対して活発な意見・議論が交わされました。

広報資料は、パワーポイントにより作成し、一般の方にわかりにくいとされる専門用語等を排除して、わかりやすい内容としたものです。今後は、環境改善に関連する会議、子供向け環境学習用等、様々なシーンで活用できるように改良する予定です。

今後の三河湾部会について

今回まとめさせていただきました「三河湾貧酸素水塊発生抑制に向けて(仮称)」をもとに、より具体的な干潟・浅場造成、深堀跡の修復等の議論を進めていきたいと考えています。

今後の三河湾部会の動向にご注目いただきますようよろしくお願いいたします。

○国際自動車コンプレックス総会が開かれました

平成22年12月20日、三河港の振興と発展を民間の立場から進める国際自動車コンプレックス研究会(事務局:(社)東三河地域研究センター)が第12期の総会を開催しました。

同研究会は自動車関連企業に加えて、国土交通省、愛知県、東三河地域の自治体が情報意見交換を行うことで連携を図りつつ、自動車産業に関する諸研究機関との連携による研究活動や防災などに対応した港湾機能維持に関する研究活動などを行っています。

この総会では、昨年度の活動報告や今年度の活動計画などの報告とともに、国際港湾協会(IAPH)事務総長の成瀬進氏から「世界の港湾の現状と日本の港湾政策」と題した記念講演が行われました。講演では、経済変化や環境重視の中で変化し続ける世界の港湾の状況と戦略が説明され、国際自動車港湾である三河港の活性化について参加者と意見交換が行われました。



成瀬進氏の講演の様子

☆なるほど三河港☆



○祝 三河港上海航路新設！でも、航路が開設されるってどういうこと？

平成22年12月30日から三河港に、上海向け直行コンテナ便の航路が開設されました。

「航路」とは海上輸送法における二地点以上を結ぶ道筋としてのものと、海上交通安全法、港湾法でのある水域での進路としてのものがあります。今回開設される航路は、海上輸送法上の航路です。

外国との物のやり取りの内99.7%は港で行っています。さらに、そのやり取りにおいてはコンテナを用いることが多いです。コンテナは貨物を輸送するのに便利な手段なのですが荷降しするのに大きなクレーンが必要であったり、コンテナ船の大型化に伴い船舶が入港できる水深の深い岸壁が必要になったりしています。港湾施設を充実させようするとそれには莫大なお金がかかります。よって、たくさん貨物を取扱わなければ港湾施設が充実せず、港湾施設が充実しないと物が直接入ってこないこととなります。

物の値段には輸送コストも加味されるわけですが、直行便がなければ当然追加される輸送費が高くなります。

今回、三河港と上海港が結ばれたことにより2日間で貨物が届きますが、これまでは日数も多くかかり、その分余分なコストもかかっておりました。

世界でも成長著しい中国との直行便が三河港と結ばれたことにより、その背後圏の経済成長も大きく期待されます。



上海港

○気ままに三河湾釣り紀行（碧南釣り公園編）

「釣り」という視点から三河湾をもっと皆さんに知ってもらうため、三河港湾事務所の釣り好きな職員が休日を利用して三河湾内の各釣り場をレポートする「気ままに三河湾釣り紀行」。今回は、碧南火力発電所（碧南市）の北側に位置する「碧南釣り公園」を紹介します。

平成22年大晦日から平成23年元旦にかけての寒波が一段落した1月3日（日）。風も無さそうなので「碧南釣り公園」に出かけました。この釣り公園は駐車場、トイレ、手洗い場が完備されていてご家族連れでも安心です。この時期は碧南火力発電所からの排水に集まってくるクロダイ、カサゴ、ボラ、セイゴ（ズブキの幼魚）、ハゼ等が狙えます。

当日、筆者は石ゴカイをエサにして、食べて美味しいカサゴを狙いました。しかし、寒波が一段落したとはいえ急激な海水温低下のためか（？）魚の活性が思った以上に低く、ハゼの仲間らしき魚を1匹ゲットしたのみで惨敗でした。このMini-WAN1月号が発行される1月末以降はさらに海水温の低下が予想されますが、海水温が低いなりにも天候が安定した日が続けば釣果が期待できそうです。今しばらく寒い日が続くと思われますが、天候の良い日は防寒対策をしっかりとって海へ釣りに出かけませんか？

*釣りに行く際の注意・・・荒天時は釣りをやめる等無理のない計画を！また、安全のためライフジャケットを着用しましょう。立入禁止箇所には入らないでね。



足場が良い碧南釣り公園



ちょっとした遊具もあります



貴重な1匹(ハゼの仲間?)